

東京ミッドタウン 秋恒例のデザインイベント 「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2017」 東京ミッドタウンに巨大なビニールハウスが登場！

今年は「ふれる」をテーマに、デザインに出会う24日間
10月13日(金)～11月5日(日)

東京ミッドタウン(事業者代表 三井不動産株式会社)は、秋のデザインイベント「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2017」(東京ミッドタウン デザインタッチ 2017)を、2017年10月13日(金)から11月5日(日)まで開催いたします。

今年のテーマは“ふれる”



“やさい”に注目したインスタレーション
「デジベジ -Digital Vegetables- by PARTY」



「未来の学校 powered by アルスエレクトロニカ」
photo: Florian Voggeneder



※写真は全てイメージです

今年で10回目を迎える
「Tokyo Midtown Award 2017」

11回目の開催を迎える今年のテーマは、「ふれる」。普段はただ「見る」ことの多いデザインに「ふれる」ことで、新たな発見や生活を豊かにするヒントを得ていただくことを意図しています。

“やさい”に注目したインスタレーションや、世界的なクリエイティブ機関「アルスエレクトロニカ」との取り組み、「Tokyo Midtown Award 2017」の受賞作品の展示など様々なイベントをご用意いたします。秋の爽やかな空気の中、「デザインにふれて楽しむ」ひとときをお過ごしください。

“ふれる”をインタラクティブに体験

デジベジ -Digital Vegetables- by PARTY

東京のまん中に巨大なビニールハウスが出現します。“やさい”に直接ふれることで、映像と音が変わるインスタレーションです。都心では普段目にする事の少ない“やさい”の花やタネ、葉の色を知ることができます。

未来の社会とデザインができることについて考える

未来の学校 powered by アルスエレクトロニカ

世界的なクリエイティブ機関「アルスエレクトロニカ」と未来の社会を考えるイベントです。2回目となる今回は「私たちが今日接している情報はいかにしてデザインされているのか」をテーマに開催します。

次世代を担うアーティストやデザイナーが誕生

Tokyo Midtown Award 2017 受賞作品発表・展示

東京ミッドタウンが若い才能を発掘・応援するアートとデザインのコンペティションです。今年度の受賞作品を発表し、館内に展示します。また、開催10回目を記念した特別展示も行います。

■掲載時の一般の方のお問い合わせ先■ 東京ミッドタウン・コールセンター TEL : 03-3475-3100

■東京ミッドタウンホームページ■ www.tokyo-midtown.com

“ふれる”を体験

デジベジ –Digital Vegetables– by PARTY

今年のデザインタッチのテーマ「ふれる」をインタラクティブに体験できるインスタレーションです。わたしたちが日々ふれている“やさい”に着目。芝生に設置された奥行き 30m、幅 6m の巨大なビニールハウスの中に植えられた野菜に触れると、野菜の花、種、葉の色が映像と音になって空間に広がります。普段なにげなく接している“やさい”がデジタル技術により新たな体験としてデザインされます。



▲都会のまん中に巨大なビニールハウスが出現します



▲夜はライトアップがされ幻想的な空間になります

- 【期 間】 10月17日(火)～11月5日(日) 雨天中断
- 【時 間】 11:00～21:00
※17:00～21:00 はライトアップ展示
- 【参加費】 無料
- 【場 所】 ミッドタウン・ガーデン 芝生広場
- 【主催】 東京ミッドタウン
- 【制作】 PARTY

PARTY

PARTY

「ビッグデータ」「VR」「IoT」などの最新テクノロジーとストーリーテリングを融合し、未来の体験をデザインするクリエイティブ集団。成田空港第3ターミナルの空間デザインや、個人の価値に値段をつけてトレーディングカードのように流通させるフィンテックサービス「VALU」の設計・運営、世界中で話題を集めたピコ太郎が歌う「PPAP」のライブ演出などを手掛ける。

PARTY 代表 伊藤直樹氏のコメント

「都心での生活では、なかなか感じる事が少ない土の匂いを感じながら、“やさい”に触れ、インスタレーションを体験することによって、自然と“やさい”の成り立ちを学ぶことができる空間を演出しました。是非お楽しみください。」

未来の情報デザインに“ふれる”

未来の学校 powered by アルスエレクトロニカ

「未来の学校」とは、東京ミッドタウンと世界的なクリエイティブ機関「アルスエレクトロニカ」が協働し、イベント参加者とともに未来の社会を考えるイベントです。

2回目となる今回は「私たちが今日接している情報はいかにしてデザインされているのか」について考えます。従来型のメディアだけでなく、ウェブ、SNSなどの双方向コミュニケーション、フェイクニュースなど、現在と未来の情報デザインのあり方を考えます。

- 【期 間】 10月13日(金)～16日(月)
- 【時 間】 11:00～21:00
- 【場 所】 アトリウム
- 【料 金】 無料
- 【主催】 東京ミッドタウン
- 【協力】 アルスエレクトロニカ



▲イメージ photo: Florian Voggeneder



《アルスエレクトロニカとは》

アルスエレクトロニカは、オーストリアのリンツ市を拠点に40年近く「先端テクノロジーがもたらす新しい創造性と社会の未来像」を提案し続けている世界的なクリエイティブ機関です。毎年開催されるメディアアートに関する世界的なイベント「アルスエレクトロニカ・フェスティバル」は、芸術・先端技術・文化の祭典として知られています。

同イベントの実施の他、メディアセンターや美術館、博物館としての機能を持つ「アルス・エレクトロニカセンター」や、芸術や技術の制作や研究を行なう施設「アルスエレクトロニカ・フューチャーラボ」を通して、アート、テクノロジー、そして社会を繋ぐ様々な出会いの場を創造し、それらを横断することで生まれる「未来」を具体的な形にして社会に提案しています。

《東京ミッドタウンとアルスエレクトロニカの取り組み》

東京ミッドタウンは2017年3月30日に開業10周年を迎えました。これからの10年に向けた新たな取り組みとして、アルスエレクトロニカとの共同プロジェクトを実施します。同機関との協働によって、より豊かで持続可能な未来の社会を形作るための様々なアイデアやイノベーションが次々と発信され、それに人々が触発されていく、東京ミッドタウンがその「場」となることを意図しています。「未来の学校」は、未来の社会をイベント参加者とともに考えていくイベントです。今後、年間を通じてこのような取り組みを行なっていく予定です。

伝統とデザインに“ふれる”

ものこころ提灯

ミッドタウン・ガーデンの小川に沿うように提灯が並びます。現代では装飾や看板として使われることが多い提灯ですが、ものこころ提灯は人が近づくと歓迎するかのように揺れ動き、その喜びを表現するかのように灯りが変化します。日本の伝統的な題材とデザインが融合し、「もの」に「こころ」が宿った新しい提灯の姿を表現しています。緑の中を歩きながら、インタラクティブな体験をお楽しみください。

- 【期 間】 10月13日(金)～11月5日(日)
- 【時 間】 11:00～21:00
※17:00～21:00 はライトアップを実施
- 【場 所】 ミッドタウン・ガーデン
- 【主 催】 東京ミッドタウン
- 【制 作】 WOW/HAKUTEN



▲イメージ

デザイナーの情熱に“ふれる”

Salone in Roppongi vol.5 2017(サローネ イン ロッポンギ)

今年で5回目の開催となる Salone in Roppongi。今回は、ミラノサローネのように世界を舞台にするデザイナー、建築家、アーティストが集まるスペース「デザイナーズ・ジャンクション」が登場します。数々のクリエイターがデザインを語り、表現し、交わる「場」でワークショップやトークセッションなどを開催します。

- 【期 間】 10月13日(金)～10月22日(日)
- 【時 間】 11:00～21:00
- 【場 所】 コートヤード
- 【主 催】 Salone in Roppongi 実行委員会
- 【協 力】 東京ミッドタウン
- 【参加クリエイター】

柿木原政広 (10inc・グラフィックデザイナー／アートディレクター)、
植原亮輔 (KIGI・グラフィックデザイナー)、鬼木孝一郎 (ODS・建築家)



ミラノサローネとは

毎年4月に1週間にわたりイタリア・ミラノで開催される世界屈指の国際家具見本市を中心に、世界160か国からデザイン関係者やクリエイターが集まり、新作の発表や様々なインスタレーションなどの展示を行うイベントです。

東京ミッドタウン・アンティークマルシェ

骨董・古美術を扱い創刊 40 年を迎える月刊誌「目の眼」が企画する骨董市を開催いたします。一流のアンティーク・ディーラーが集い、洗練された眼とセンスで厳選された品々には、その時代特有のデザインがこめられています。見て、ふれて、古きものの「新しさ」を感じていただける骨董市です。

- 【期 間】 10 月 28 日(土)、10 月 29 日(日)
- 【時 間】 11:00～17:00
- 【場 所】 ミッドタウン・ガーデン
- 【主 催】 株式会社目の眼
- 【協 力】 東京ミッドタウン



▲昨年の様子

Tokyo Midtown Award 2017 受賞作品発表・展示

東京ミッドタウンのコンセプトでもある“「JAPAN VALUE(新しい日本の価値・感性・才能)」を創造・結集し、世界に発信し続ける街”を目指す活動の一環として始まった、今年で 10 回目を迎える「Tokyo Midtown Award」。次世代を担うアーティスト、デザイナーの発掘と応援を目的に、2017 年も〈アートコンペ〉〈デザインコンペ〉の 2 部門で作品を募集しました。応募作品計 1,489 点(アート 327 点・デザイン 1,162 点)の中から計 14 作品を選出し、「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2017」期間中に、受賞作品の発表・展示および授賞式を実施します。また、「Tokyo Midtown Award」開催 10 回目を記念して、これまでのデザインコンペの受賞作品全 77 点を一堂に展示いたします。

■ Tokyo Midtown Award 2017 受賞作品発表

- 【日 時】 10 月 13 日(金)
※審査結果はホームページ等を通じて発表します

■ Tokyo Midtown Award 2017 授賞式

- 【日 時】 10 月 13 日(金) 16:30～17:30(予定)
- 【場 所】 ビルボードライブ東京(ガーデン・テラス 4F)
※受賞者、関係者、報道関係者にのみ公開
※当日の様子は Ustream で配信予定



▲昨年の授賞式の様子

■ 作品展示

- 【日 時】 10 月 13 日(金)～11 月 5 日(日)
- 【場 所】 プラザ B1F
- 【展示作品】 ①Tokyo Midtown Award 2017 受賞作品(14 点)
※期間中は一般投票で人気作品を選出する「オーディエンス賞」も実施
②Tokyo Midtown Award 2008～2016 デザインコンペ受賞作品(77 点)

<アートコンペ>

- 【審査員】 川上典李子、児島やよい、清水敏男、鈴木康広、土屋公雄、中山ダイスケ
- 【後 援】 University of Hawai'i at Mānoa / Department of Art and Art History
- 【テ ー マ】 応募者が自由に設定(東京ミッドタウンという場所を活かしたサイトスペシフィックな作品を募集)
- 【賞 金】 グランプリ(100 万円)、準グランプリ(50 万円)各 1 点、優秀賞 4 点(各 10 万円)
※グランプリ受賞者を University of Hawai'i のアートプログラムに招聘

<デザインコンペ>

- 【審査員】 小山薫堂、佐藤卓、柴田文江、原研哉、水野学
【テーマ】 「TOKYO」
【賞金】 グランプリ(100万円)、準グランプリ(50万円)、優秀賞(30万円)各1点、
審査員特別賞5点(各5万円)
※グランプリ受賞者を国際家具見本市「ミラノサローネ」開催中にイタリア・ミラノへご招待
(最大2名まで)

【Tokyo Midtown Award 詳細】 <http://www.tokyo-midtown.com/jp/award/>

あのヒット商品も Tokyo Midtown Award から誕生しました！

デザインコンペは商品化サポートがあることも特長のひとつ。「歌舞伎フェイスパック」はインパクトのあるデザインが好評で、発売当時 SNS で多くの写真がアップされ話題となり、2016年5月に行われた伊勢志摩サミットでは日本のお土産として外務省を通じて各国首脳陣やメディアに贈られました。

また、2016年の受賞作品「おめでたい紙コップ」は、3月の発売以降様々なメディアで取り上げられ、記念行事などおめでたいシーンをより一層華やかに演出してくれると人気です。

これまでに14作品が商品化、1作品がイベントとして実施されています。明日のヒット商品が今年のアワード受賞作から誕生するかもしれません。ぜひ、若い才能にご期待ください。



- ① 歌舞伎フェイスパック 833円(小島梢)
歌舞伎座や羽田空港で東京のお土産として人気を博しているフェイスパック。デザイナーの小島氏はこれに続くシリーズのデザインも担当し、活躍の場を広げている。
- ② おめでたい紙コップ 590円/50個入り(井下悠)
記念行事やおめでたい日に張る紅白幕の模様の紙コップ。手軽に「ハレの日」のお祝い気分を盛り上げるアイテムで、小さな宴席から大規模なパーティまで、またお正月やお花見の席などを彩ります。
- ③ 富士山グラス 3,776円(鈴木啓太)
ビールを注ぐと瞬間に雪を被り夕日に照らされる富士山が出現するグラス。
- ④ くつつした 【左】Midtown(S、Mサイズ)1,296円
【右】Campus(S、Mサイズ)1,512円(税抜)(村山譲治)
靴をデザインした靴下。ウィットの効いたギフトとして人気です。「2009年度グッドデザイン賞」受賞。

※価格は全て税抜

同時開催イベント

「GOOD DESIGN EXHIBITION 2017」

「Gマーク」で広く親しまれているグッドデザイン賞の最新受賞デザインを紹介する「GOOD DESIGN EXHIBITION 2017」を開催します。「グッドデザイン大賞」をはじめとする2017年の受賞デザインをオールジャンルでご覧ください。会期中には受賞アイテムを扱う期間限定の「グッドデザインストア」もオープン予定です。

- 【期 間】 2017年11月1日(水)～11月5日(日)
- 【場 所】 東京ミッドタウン内各所
メイン会場／東京ミッドタウン・ホール、アトリウム
東京ミッドタウン・デザインハブ ほか
- 【時 間】 11:00～20:00
- 【料 金】 一部有料、1,000円(大人)
- 【主 催】 公益財団法人日本デザイン振興会



▲昨年度の会場



▲シンボルイメージ

「私の選んだ一品 2017」展

グッドデザイン賞の審査委員が選んだデザインをご紹介します。デザイナーや建築家など第一線で活躍するクリエイターが、パーソナルに選んだお気に入り・気になる受賞デザインの数々をお楽しみください。

- 【期 間】 2017年10月4日(水)～10月27日(金)
- 【場 所】 東京ミッドタウン・デザインハブ
- 【時 間】 11:00～19:00
- 【料 金】 無料
- 【主 催】 東京ミッドタウン・デザインハブ
- 【企画・運営】 公益財団法人日本デザイン振興会



▲昨年度の会場

「安藤忠雄 21_21 の現場 悪戦苦闘」

21_21 DESIGN SIGHT では、10月7日(土)より「安藤忠雄 21_21 の現場 悪戦苦闘」を開催します。安藤忠雄が設計した21_21 DESIGN SIGHTの建築の初期アイデアやスケッチ、建設現場の写真や映像を展示するほか、本建築に関連するオリジナルグッズや安藤忠雄に関する書籍などを揃えた期間限定のショップも登場します。

- 【期 間】 2017年10月7日(土)～10月28日(土)
- 【場 所】 21_21 DESIGN SIGHT ギャラリー3
東京都港区赤坂 9-7-6 (ミッドタウン・ガーデン内)
- 【時 間】 10:00～19:00
- 【料 金】 無料
- 【企 画】 21_21 DESIGN SIGHT
- 【企画協力】 安藤忠雄建築展実行委員会



「野生展: 飼いならされない感覚と思考」

21_21 DESIGN SIGHT では、10月20日(金)より「野生展: 飼いならされない感覚と思考」を開催します。

- 【期 間】 2017年10月20日(金)～2018年2月4日(日)
- 【場 所】 21_21 DESIGN SIGHT ギャラリー1、2
東京都港区赤坂 9-7-6 (ミッドタウン・ガーデン内)
- 【時 間】 10:00～19:00 (入場は 18:30 まで)
- 【料 金】 一般 1,100円、大学生 800円、高校生 500円
※中学生以下は無料
- 【主 催】 21_21 DESIGN SIGHT、公益財団法人 三宅一生デザイン文化財団

